

# ☆右脳・左脳診断結果用紙☆

■あなたの結果は！

左脳

右脳

60 : 40

でした！

■左脳と右脳のそれぞれの特徴！

## 左脳派の人の特徴

- ・分析的、論理的
- ・計算能力が高い
- ・真面目、几帳面、努力家
- ・文字による記憶



## 右脳派の人の特徴

- ・感覚的、直感的
- ・総合的判断力が高め
- ・楽天的、マイペース
- ・イメージによる記憶



(※真偽は不明です。)

# ☆あなたを学生に例えたら！☆

小学生	好奇心にあふれ、非常に元気と言えるでしょう。柔軟かい思考ができ、ゆたかな発想力を持っています。何事も素直に楽しめるタイプです。
中学生	興味のあることを深く探求し、それを自身の持つ知識に結び付ける能力を持っています。自分の持つあらゆる可能性に気が付くタイプです。
高校生	交友関係を大事にし、幅広い視点で物事を捉えられるタイプです。大きな決断を下す事もあるかもしれませんが、それを楽しむのも1つの手段でしょう。
大学生	自分の仕事や責任を理解し、締め切りに間に合わせようとするタイプです。将来への心配もあるかもしれませんが、それを乗り越える努力をしましょう。
(教授)	物事を自らの経験で処理し、秩序を重んじます。何事も熟考し、最後まで物事をやり遂げることができるでしょう。何かあれば人の役にも立てるタイプです。

※結果は社会科研究部オリジナルのものです。信憑性・妥当性は一切保証しません。

でした！

# ☆エゴグラム診断用紙☆

## ■エゴグラムとは？

エゴグラムとは、人の5つの自我の状態を表したものであり、それぞれ下のような配置になっています！

CP（批判的な親）	FC（自由な子ども）
A（大人）	
NP（養育的な親）	AC（従順的な子ども）

上の表だけでは何なのかわからないと思いますので、結果を含めて次の表を作成いたしました！

## ■あなたの結果は・・・？

社会科研究部オリジナルで次の表を作成いたしました。自由に写真を撮ってシェアしても構いません！

名称	結果	高い人の特徴	低い人の特徴
CP	<b>1 2</b> /20	自分または他人を危険な相手から守ることができます。また、自分の意見を他人に素直に言うことができます。	他人を傷つけないがために、他の人から気に入られたりしますが、少々自己犠牲的になることもあります。
NP	<b>1 5</b> /20	他人に温かく接する傾向があり、相手の気持ちをよく考えて受け止めるタイプです。いわゆる世話好きな方です。	人間関係に疲れることが少なく、ちょうどいい距離感を持って人に面倒くさがられずに話すことができます。
A	<b>1 3</b> /20	情報を冷静に分析して取捨選択をすることができます。感情に惑わされずに現実的に物事を判断できます。	身近な出来事に関して自分や相手の気持ちを優先的に考え、他人の気持ちに寄り添った回答ができます。
FC	<b>1 3</b> /20	趣味が多く、好奇心に溢れ、創造的なタイプだといえます。他人にとらわれず、自由に生きていくタイプです。	自己中心的な行動をしにくいいため、他人に嫌味を抱かれにくく、安定的でトラブルを起こすことが少ないタイプです。
AC	<b>1 0</b> /20	協調的で、妥協することができます。その反面気に入られたいと思い、他人の注意を引こうとすることもあります。	他人に依存することが少なく、我慢せずに、不満やストレスをずっと持ち続けることが比較的少ないタイプです。

※普通の文章があなたも自分に対してであるかのように感じる場合もありますので、ご注意ください。(バーナム効果)

## ■社会科研究部・オリジナルパンフレットのご案内

栄東社会科研究部では、心理テストにお越しくださったお礼として、オリジナルで作成した社研部誌・社会雑学・心理学の冊子を電子でお配りしております。公開期間は約1年後の2025/5/31までですので、ぜひ早めにご確認ください！

※通信量が多めなので、Wi-Fi等のある場所にてご確認ください。



## ■さいごに

今回の心理テストはどんな感じでしたか？今回行ったテストは、ほとんどが我々社会科研究部が独自で作成した力作となっております。またこのテストに参加していただいたみなさん、誠にありがとうございました。おかげさまで楽しい文化祭にすることができたと思います。もちろん、一部不具合のあるところや、少々納得行かないところがあると思います。問題数が多いようなこのテストでも、人を把握できないし数々の重大な欠点が存在するのです。

この心理テストはまだ未完成です。どうかこの結果を真に受け入れずに、友達とシェアしたりと貴重な経験にいただけたと我々としては幸いです！

社会科研究部より

ID: 0 2 3 3 3

